

3 セットマッチ プロトコル (試合開始前・セット間及び終了後の手順)

宮城県高体連バレーボール専門部

《試合開始前》

試合前	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォーム・アップをすることができる。	両審判員は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置及びサイド・バンドの位置をチェックする。
11分前	チーム・キャプテンは、トスのために記録席へ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、記録席前で副審を立ち合わせてトスを行う。副審は、両方のチーム・キャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
10分前	両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォーム・アップを開始する。	主審は、公式ウォーム・アップ開始を吹笛する。そして、ボール、スコア・シート、プザー、ユニフォーム等、ゲームに必要な用具をチェックする。ライン・ジャッジ、ボール・リトリバー、モッパーと打合わせを行う。 副審は、公式ウォーム・アップの計時を行う。
7分前	個別に公式ウォーム・アップを行っている場合は、交替する。	副審は、各チームが個別に公式ウォーム・アップを行っている場合は、その交替を吹笛で合図をする。
4分前	主審の吹笛で、公式ウォーム・アップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチに戻る。	主審は、公式ウォーム・アップの終了を吹笛する。
3分前	全プレイヤーは、エンド・ライン上に整列する。 主審の吹笛と合図で、ネット付近で最初に両チーム・キャプテンが握手する。そして、チーム・メンバーが続いて握手をする。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティング・プレイヤーは、ユニフォーム姿で待機する。	主審は、両チームのプレイヤーをエンド・ライン上に導く。主・副審は、審判台の前でネットをはさんで記録席側から見て左側に主審、右側に副審が位置する。 〔アナウンサーは、対戦カード等の紹介をする。〕 両チームが整列したら、挨拶(握手)を交わすよう吹笛する。 審判役員は、それぞれの定位置に着く。副審は、サービス・ゾーンの右側に位置しているボール・リトリバーにボールを1つずつ送る。
1分 30秒前	主審の吹笛で、スターティング・プレイヤーはベンチから直接コートに入る。 〔リベロ・プレイヤーが入る場合は、ライン・アップ・シートのチェック後にコートへ入る。〕	主審は、吹笛でプレイヤーをコート内へ導く。 副審及び記録員は、それぞれスターティング・ライン・アップを照合する。その後、副審は、ボールを最初のサーバーに送る。
0分前	最初のサーバーは、主審のサービス許可の吹笛によりサービスを行う。	主審は、サービス許可の吹笛をする。

《セット間》

	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
セット 終了時	セットが終了したら、コート上のプレイヤーはエンド・ライン上に整列する。プレイヤーは、主審の吹笛で向かって右側のサイド・ラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに戻る。	主審は、両チームのプレイヤーがエンド・ライン上に整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分 30秒後	プレイヤーは、副審の吹笛により、ベンチから直接コートに入る。 〔リベロ・プレイヤーが入る場合は、ライン・アップ・シートのチェック後にコートへ入る。〕	副審は、記録員の合図を受けて両チームにコートに入るよう吹笛で合図をする。副審・記録員は、その後、直ちにスターティング・ライン・アップを照合する。

《第3セットのコート・チェンジ》

	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
いずれかのチームが13点目を先取したとき	主審の吹笛でコート上のプレイヤーは、エンド・ライン上に整列し、主審の吹笛とシグナルの合図で、向かって右の支柱の外側をまわりコートを交替する。	主審は、13点目の吹笛後、コート上のプレイヤーは、エンド・ライン上に整列させ、両チームにコートを交替するよう吹笛とシグナルで合図をする。 副審・記録員は、直ちにライン・アップを照合する。

《試合終了後》

	チ ャ ム	主 審 ・ 副 審
速やかに	試合が終了したら、エントリーされたプレイヤーは、エンド・ライン上に整列し、主審の吹笛で、ネットに近づき、相手チームと挨拶(握手)を交わす。チーム・キャプテンは、主審と副審に感謝の握手をする。そして、記録用紙にサインする。チームは、直ちにベンチから退出する。	主審は、エントリーされたプレイヤーをエンド・ライン上に整列させる。主審は、審判台を降り、副審が審判台右側の定位置に着いたら、吹笛で両チームに挨拶(握手)をさせる。そして、両チームのチーム・キャプテンを伴って記録席に行き、記録用紙にサインさせ、その後、記録員の記録用紙への記入を完了させる。